

計画の推進体制

施策の方向性(1) 推進体制の整備

| 具体的な施策 | 1 庁内推進体制の充実・連携の強化 | | 企画課 |
|---------|---|--|-----|
| 内容 | 「男女共同参画推進本部」や「男女共同参画推進幹事会」の会議を定期的に開催し、実施状況等を確認・協議することで、計画を全庁的・総合的に推進していくための体制の充実及び連携の強化を図ります。 | | |
| 実施状況 | 年度 | 実施事業 | 評価 |
| | 26年度 | ・「男女共同参画推進本部」「男女共同参画推進幹事会」とも1回ずつ開催した。内容は、男女共同参画計画後期計画（平成21～25年度）の平成25年度実施状況の確認、協議であった。 ・推進本部会議や推進幹事会の開催に先立って、全庁的に実施状況の振り返りを行っている。 | B |
| | 27年度 | | |
| | 28年度 | | |
| | 29年度 | | |
| 次年度に向けて | 方向性 | 課題や具体的な取り組み | |
| | 継続 | ・今後も推進本部会議、推進幹事会を開催し、男女共同参画の取り組みを全庁で推進する。 ・このような全庁的な会議の場を利用して、DV相談窓口の周知や、審議会等委員への女性の登用の推進を図っていく必要がある。 | |

計画の推進体制

施策の方向性(1) 推進体制の整備

| 具体的な施策 | 2 男女共同参画計画の推進 | | 全庁 |
|---------|--|--|----|
| 内容 | 毎年度、計画に基づく各施策の評価や実施状況の把握を行い、「男女共同参画社会推進審議会」に報告するとともに、審議会での意見を各施策に反映することで、さらなる計画の推進を図ります。 | | |
| 実施状況 | 年度 | 実施事業 | 評価 |
| | 26年度 | ・男女共同参画計画後期計画（平成21～25年度）の平成25年度実施状況の確認を行い、報告書を作成し「男女共同参画社会推進審議会」に報告した。 ・第2次計画に基づき、各担当課において施策に取り組んだ。 | B |
| | 27年度 | | |
| | 28年度 | | |
| | 29年度 | | |
| 次年度に向けて | 方向性 | 課題や具体的な取り組み | |
| | 継続 | ・今後も施策の実施状況の確認、審議会へ報告を行っていく。 ・審議会での意見を踏まえ全庁で計画の推進を図っていく。 | |

計画の推進体制

施策の方向性(1) 推進体制の整備

| 具体的な施策 | 3 男女共同参画推進のための活動拠点の検討 | | 企画課 |
|---------|--|--|-----|
| 内容 | 既存施設を活用しながら、男女共同参画を推進するための拠点確保について検討します。 | | |
| 実施状況 | 年度 | 実施事業 | 評価 |
| | 26年度 | 平成24年度から、人権教育啓発センターの一室をコミュニティルームとし、男女共同参画に取り組む団体等が利用できるよう整備している。 | B |
| | 27年度 | | |
| | 28年度 | | |
| | 29年度 | | |
| 次年度に向けて | 方向性 | 課題や具体的な取り組み | |
| | 継続 | 利用団体の意見を聞き、必要に応じて反映していく。 | |

計画の推進体制

施策の方向性(1) 推進体制の整備

| | | | |
|---------|--|--|-----|
| 具体的な施策 | 4 男女共同参画社会推進審議会の設置 | | 企画課 |
| 内容 | 市の諮問に応じて審議会より答申を受けるとともに、計画の実施状況について出された意見を踏まえ男女共同参画に関する施策の推進を図るため、審議会を設置します。 | | |
| 実施状況 | 年度 | 実施事業 | 評価 |
| | 26年度 | 審議会を1回開催した。内容は、男女共同参画計画後期計画（平成21～25年度）の平成25年度実施状況報告について。 | A |
| | 27年度 | | |
| | 28年度 | | |
| | 29年度 | | |
| | 30年度 | | |
| 次年度に向けて | 方向性 | 課題や具体的な取り組み | |
| | 継続 | 今後も審議会から意見を伺い、各施策に反映していくよう努める。 | |

計画の推進体制

施策の方向性(1) 推進体制の整備

| | | | |
|---------|------|---|-----|
| 具体的な施策 | | 5 男女共同参画の視点に立った刊行物ガイドライン作成 | 企画課 |
| 内容 | | 市及び関係機関が発行する刊行物に関して、固定的な性別役割分担意識にとらわれない表現を行うための指標として作成したガイドラインについて、情報収集を行いながら、必要に応じて改訂を検討します。 | |
| 実施状況 | 年度 | 実施事業 | 評価 |
| | 26年度 | 平成20年度企画課作成以降、指標やガイドラインの改訂は行っていない。 | D |
| | 27年度 | | |
| | 28年度 | | |
| | 29年度 | | |
| 次年度に向けて | 方向性 | 課題や具体的な取り組み | |
| | 継続 | 必要に応じ、企画課、人権・同和教育課、総務課など関係課の協議により作成する。 | |

計画の推進体制

施策の方向性(1) 推進体制の整備

| | | | |
|---------|---|--|-----|
| 具体的な施策 | 5 男女共同参画の視点に立った刊行物ガイドライン作成 | | 総務課 |
| 内容 | 市及び関係機関が発行する刊行物に関して、固定的な性別役割分担意識にとらわれない表現を行うための指標として作成したガイドラインについて、情報収集を行いながら、必要に応じて改訂を検討します。 | | |
| 実施状況 | 年度 | 実施事業 | 評価 |
| | 26年度 | 平成20年度企画課作成後、指標、ガイドラインの改定は行っていない。 | D |
| | 27年度 | | |
| | 28年度 | | |
| | 29年度 | | |
| 次年度に向けて | 方向性 | 課題や具体的な取り組み | |
| | 継続 | 必要に応じ、企画課、人権同和教育課、総務課などの関係課の協議により作成する。 | |

計画の推進体制

施策の方向性(1) 推進体制の整備

| | | | |
|---------|--|--|-----|
| 具体的な施策 | 6 男女共同参画担当部署の強化・充実 | | 企画課 |
| 内容 | 男女共同参画推進政策を総合的に推進していくため、推進体制の強化・充実を図ります。 | | |
| 実施状況 | 年度 | 実施事業 | 評価 |
| | 26年度 | 平成18年度から変更はなく、継続した推進体制をとっている。 | B |
| | 27年度 | | |
| | 28年度 | | |
| | 29年度 | | |
| 次年度に向けて | 方向性 | 課題や具体的な取り組み | |
| | 継続 | 全庁的な組織効率化、組織機構を検討する中で、男女共同参画担当部署の位置づけを明確にしていく。 | |

計画の推進体制

施策の方向性(1) 推進体制の整備

| | | | |
|---------|---|--|-----|
| 具体的な施策 | 7 苦情処理機関の効果的な運用 | | 企画課 |
| 内容 | 苦情処理機関として設置している「男女共同参画推進委員」の周知を行いながら、男女共同参画施策等に関する市民からの苦情を適切に処理します。 | | |
| 実施状況 | 年度 | 実施事業 | 評価 |
| | 26年度 | ・苦情処理委員（男女共同参画推進委員）を設置し、弁護士2人に委嘱している。 ・平成26年度の苦情案件は0件だった。 | A |
| | 27年度 | | |
| | 28年度 | | |
| | 29年度 | | |
| 次年度に向けて | 方向性 | 課題や具体的な取り組み | |
| | 継続 | 市民からの苦情案件はなかったが、今後も市民に対し、苦情処理機関の周知を続ける。 | |

計画の推進体制

施策の方向性(1) 推進体制の整備

| | | | |
|---------|---|---|-----|
| 具体的な施策 | 8 市職員の男女共同参画に対する意識の向上 | | 企画課 |
| 内容 | 計画の実施状況報告作業や職員研修などを通じて、男女共同参画に関する啓発等を行い、職員の意識向上を図ります。 | | |
| 実施状況 | 年度 | 実施事業 | 評価 |
| | 26年度 | ・男女共同参画計画の実施状況を各課で振り返り、実施状況報告を作成する中で、意識の向上を図った。 ・県男女共同参画センター「あすばる」が開催する「行政職員のための男女共同参画セミナー」や、市の男女共同参画セミナーについて案内し、参加を促した。 | B |
| | 27年度 | | |
| | 28年度 | | |
| | 29年度 | | |
| 次年度に向けて | 方向性 | 課題や具体的な取り組み | |
| | 継続 | あすばるの「行政職員のための男女共同参画セミナー」や、市の男女共同参画セミナーに対し、積極的に参加するよう促す。 | |

計画の推進体制

施策の方向性(1) 推進体制の整備

| | | | |
|---------|---|--|-------|
| 具体的な施策 | 8 市職員の男女共同参画に対する意識の向上 | | 人事秘書課 |
| 内容 | 計画の実施状況報告作業や職員研修などを通じて、男女共同参画に関する啓発等を行い、職員の意識向上を図ります。 | | |
| 実施状況 | 年度 | 実施事業 | 評価 |
| | 26年度 | 次世代育成行動計画に基づき、毎週水曜日をノーカンクスデーと定め、次世代育成を目的のひとつとして取り組んだ。エコ・オフィス実施と兼ねて職場巡回を行い、職員の定時退庁を促した。 | B |
| | 27年度 | | |
| | 28年度 | | |
| | 29年度 | | |
| | 30年度 | | |
| 次年度に向けて | 方向性 | 課題や具体的な取り組み | |
| | 充実 | ハラスメントに関する研修を実施し、男女共同参画意識の向上に効果ある研修を実施していく。 | |

計画の推進体制

施策の方向性(2) 市民と協働して進めるまちづくり

| | | | |
|---------|---|---|-----|
| 具体的な施策 | 1 市民意識調査の実施 | | 企画課 |
| 内容 | 男女共同参画に関する意識調査を行い、市民の意識や行政に対する要望を把握し、政策に反映させます。 | | |
| 実施状況 | 年度 | 実施事業 | 評価 |
| | 26年度 | 平成26年度は市民意識調査を実施していない。 | D |
| | 27年度 | | |
| | 28年度 | | |
| | 29年度 | | |
| | 30年度 | | |
| 次年度に向けて | 方向性 | 課題や具体的な取り組み | |
| | 継続 | 第2次男女共同参画計画の見直しの際など、必要な時期に市民意識調査を実施し、市民の男女共同参画意識や取り組みの状況などを把握したい。 | |

計画の推進体制

施策の方向性(2) 市民と協働して進めるまちづくり

| 具体的な施策 | 2 市民からの意見の聴取 | | 全庁 | |
|---------|--|---|----|----|
| 内容 | 重要な計画を策定する際にパブリック・コメントを実施するなど、市民からの意見を広く取り入れながら、計画を推進・策定します。 | | | |
| 実施状況 | 年度 | 実施事業 | | 評価 |
| | 26年度 | 計画策定の際にパブリック・コメントを実施した。 ・新型インフルエンザ等対策行動計画 ・小郡市協働のまちづくり実施計画 ・第三次小郡市子どもの読書活動推進計画 ・小郡市スポーツ推進基本計画 ・小郡市地域福祉計画　　・第4期小郡市障害福祉計画 ・小郡市第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画 ・小郡市子ども・子育て支援事業計画（第1期） ・小郡市食料・農業・農村基本計画 | | B |
| | 27年度 | | | |
| | 28年度 | | | |
| | 29年度 | | | |
| | 30年度 | | | |
| 次年度に向けて | 方向性 | 課題や具体的な取り組み | | |
| | 継続 | ・継続して、市民からの意見を取り入れながら計画の策定を行っていく。 ・多くの市民から意見を聴取できるよう、パブリック・コメント実施に際し、周知方法など工夫していく。 | | |

計画の推進体制

施策の方向性(2) 市民と協働して進めるまちづくり

| 具体的な施策 | 3 審議会等への市民の積極的登用の推進 | | 全庁 |
|---------|---|--|----|
| 内容 | 市の施策に、性別に関わりなく市民の声を反映できるよう、審議会等への公募等による市民の登用を推進します。 | | |
| 実施状況 | 年度 | 実施事業 | 評価 |
| | 26年度 | 以下の審議会等で新たに公募委員を登用した。 ・小郡市総合振興計画審議会 ・小郡市社会教育委員 ・小郡市公民館運営審議会 ・小郡市景観審議会 | B |
| | 27年度 | | |
| | 28年度 | | |
| | 29年度 | | |
| 次年度に向けて | 方向性 | 課題や具体的な取り組み | |
| | 継続 | <ul style="list-style-type: none"> ・専門性を求められる審議会等、市民の登用が難しいものもある。 ・市民の積極的登用のため、規定の改正等も含め、さらに推進していく必要がある。 | |

計画の推進体制

施策の方向性(2) 市民と協働して進めるまちづくり

| | | | |
|---------|------|--|-----|
| 具体的な施策 | | 4 男女共同参画のまちづくりの推進 | 企画課 |
| 内容 | | 市民との協働によるまちづくりにおいて男女共同参画の視点を取り入れ、地域の関係団体との連携強化や、さまざまな分野における男女共同参画のまちづくりを推進します。 | |
| 実施状況 | 年度 | 実施事業 | 評価 |
| | 26年度 | おごおり女性協議会に対し、審議会等への委員推薦依頼を行うなど、連携して取り組んだ。 | C |
| | 27年度 | | |
| | 28年度 | | |
| | 29年度 | | |
| 次年度に向けて | 方向性 | 課題や具体的な取り組み | |
| | 充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に連携して取り組む地域団体を広げていく必要がある。 ・おごおり女性協議会とは、引き続き協力して取り組む。 | |

計画の推進体制

施策の方向性(2) 市民と協働して進めるまちづくり

| 具体的な施策 | 4 男女共同参画のまちづくりの推進 | | 協働推進課 | |
|---------|--|--|-------|----|
| 内容 | 市民との協働によるまちづくりにおいて男女共同参画の視点を取り入れ、地域の関係団体との連携強化や、さまざまな分野における男女共同参画のまちづくりを推進します。 | | | |
| 実施状況 | 年度 | 実施事業 | | 評価 |
| | 26年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・区長会として男女共同参画セミナーへの参加（案内送付） ・おごおり女性協議会が実施する自治会における女性の登用状況アンケートへの協力 ・協働のまちづくり協議会における女性の参画 | | B |
| | 27年度 | | | |
| | 28年度 | | | |
| | 29年度 | | | |
| | 30年度 | | | |
| 次年度に向けて | 方向性 | 課題や具体的な取り組み | | |
| | 充実 | 各小学校区における協働のまちづくり組織への女性の参画を促していく。 | | |